

こおろぎ

発行日 2007年12月1日 **No.178**
発行元 株式会社
オリジン・コーポレーション
発行者 杉井保之
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町777-1
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187
E-mail origin@ck.tnc.ne.jp
URL <http://www.origin-co.com>

なぜ「こおろぎ」か？

「こおろぎ」の創刊号や「不完全なあなたへ」(文芸社)では紹介しているのですが、新しい読者の方から「どうして『こおろぎ』というのですか?」という質問がきているので、「こおろぎ」という名前の由来について説明したいと思います。

若い頃の私は何をやっても人より劣っていて、そんな自分が嫌いで仕方がありませんでした。そんな私は「今はイモ虫でも、いつか蝶々のように、もっとカッコ良く、もっと優秀な自分になりたい」と願っていました。しかし、どんなに願っても、ある日突然、素敵な自分になることはありませんでした。

そんな時に「こおろぎ」という虫についての話を聞いたのです。

「こおろぎ」という虫は、鈴虫のように人から好かれる虫ではありませんし、蝶々のように一度にきれいな姿になることもありませんが、一生のうちに4回脱皮し、その度に新しい力を手に入れていくというのです。3回目の脱皮で飛べるようになり、私達が聞く鳴き声は4回目の脱皮によって手に入れるというのです。

その話を聞いて、「私は鈴虫のようにきれいな声で鳴けないし、蝶々のように一度できれいな姿に変わることは出来ないけれど、一年に一つ、新しい魅力を身につけていこう」と思ったのです。

それから私は、一年に一つテーマを決めて、そのことに力を注ぐようにしてきました。

ある年は経営を学びましたし、ある年はマーケティングを学びました。またある年は心理学を通してリーダーシップを学んだ年もありました。そうしたテーマは勉強に限らず、「言葉遣い」であったり、「約束(時間)を守ること」であったりしました。果たしてどれだけ身についたかは分かりませんが、今日、私が各地で講演させていただいたり、50歳を前にして会社を退けたのは、こうやって一年に一つずつ身につけてきたものが基盤となっていると思います。

日本では「こおろぎ」というと、「便所こおろぎ」とも呼ばれ、決して評価の高い虫ではありません(私の作っている「こおろぎ」も、よくトイレに貼られているようです)が、中国の故事には「冬を越えたこおろぎは幸せをもたらす」というものがあるそうです。確か映画「ラスト・エンペラー」の中でも、王妃が首から陶器のカゴを下げ、その中で「こおろぎ」を飼っていたシーンがあったように思いますが、そうして「こおろぎ」を越冬させていたのです。

人は生きていく限り誰の人生にも、辛いことや、悲しいことがあると思います。しかし、こうした寒い冬を乗り越えた「こおろぎ」には、幸せをもたらす力があるというのです。

私は、鈴虫や蝶々にはなれませんが、一年に一つ脱皮して、いつか鳴ける「こおろぎ」になりたいと思っています。そうした思いから通信の名前を「こおろぎ」と名づけたのです。

後で知ったことですが、私の尊敬する詩人、坂村真民先生の詩の中には「こおろぎ」がよく出てきます。その中でも私が特に好きな詩をご紹介します。

愚かなるがゆえに
こおろぎのように
一つのうたを
うたいつづけていこう
それよりほかに
自分を救う道はない

皆さんのところに届いた「こおろぎ」が冬を越えて、皆さんに幸せをもたらすことを心から願っています。

一年に一つ

色々な方を見ていると、本当によくがんばっているのに、結局、毎年、同じ努力をしている人を見かけます。その姿は、一年をかけて一生懸命にグランドを一周し、翌年にはまた同じスタートライン(お正月)を迎えているように見えます。

そうした生き方を良いとか悪いと言うつもりはありませんが、私は弱い人間なので、一年間、一生懸命に努力して、また同じスタートラインに立つことを何年間も繰り返したら、いつか努力が空しくなると思います。

私の場合は、せつかく一年間、一生懸命に生きたのなら、少しでも螺旋階段のように上に上がって、チョットでも見える景色が変わってくれたほうが、人生が楽しくなると思うのです。

皆さんは、今年一年でどれだけ景色が変わったのでしょうか?

もちろん自然に変わっていく変化もあると思いますが、それだけではただ河口に向かって流されているだけです。私は一年に一つ、何かをやり切ることで自分の人生を作っていきたいと思っています。その一つが来年以降の私の人生を彩ってくれたら、今年生きた価値があり、後から振り返っても一生の思い出となると思うのです。

もちろんその年だけでは出来ないこともあります。「あの年には自宅を新築したなぁ」「あの年にはホノルル・マラソンに友人と出場したなぁ」「あの年には大学に入学し、あの年には本を出版したなぁ」と思い出していくと、トライアスロンで国体に出場した年。イギリスに留学した年。山中湖にログハウスを作った年。100kmマラソンに挑戦した年。ダイビングのライセンスを取った年と、心のアルバムには思い出が一杯です。

そうした思い出には、その時の仲間の笑顔が刻まれていて、私の人生を彩り、「もっと生きていることを大切にしよう」と私に夢と元気を与えてくれるのです。いつか私が動けなくなった時にも、きっとそれらの思い出は、私のことを楽しませ続けてくれることでしょう。

私は、人生というものは、自分で描き、作っていくものだと思っています。もちろん思ったようにいくことばかりではありませんが、「何とかこうしたい!」と挑戦するからこそ力がついていくのです。一年は短くて、あれもこれもは出来ませんが、一年に一つ、自分の魅力を高め、思い出を作ってみてはどうでしょうか?

あまり同じところをグルグル回っていると、いつかバターになってしまいますよ!(このジョーク、分からないかな???)

今月の活動情報 活動を早く知りたい方は、ホームページで

- 12/2(日) 島田建設的な生き方を学ぶ会 (オリジン)
- 12/4(火) 山中湖建設的な生き方を学ぶ会 (安心サービス)
- 12/5(水) 南アルプス建設的な生き方を学ぶ会
- 12/6(木) 沼津建設的な生き方を学ぶ会 (沼津市原地区センター)
- 12/6(木) 沼津経営塾 (三島商工会議所)
- 12/7(金) 社員研修 (株式会社アーティスティックス)
- 12/15~16 東京経営塾「マネジメントゲーム」(田町・コネクト)
- 12/17(月) 横浜建設的な生き方を学ぶ会 (横浜地域職業訓練センター)
- 12/17(月) 東京建設的な生き方を学ぶ会 (田町・コネクト)
- 12/18(火) 葬儀関連企業研修会 (田町・コネクト)
- 12/20(木) 浜松建設的な生き方を学ぶ会 (京丸園)
- 12/22(土) 東京ハガキまつり (港勤労福祉会館)
- 12/22~23 静岡経営塾 (オリジン)
- 12/31(月) 歳末募金活動 (静岡市呉服町通り)